

2024 10.6 (日) 14:00 開場
令和6年 15:00 開演

那覇文化芸術劇場 なはーと 大劇場

バレエ・アーティスト 緑間 玲貴は「踊りは“祈り”である」という哲学のもと、バレエと琉球舞踊、日本古来の巫女舞、観音舞、能楽、雅楽などに通じる「真・善・美・愛」の世界を創造する。2015年に始まった「トコイリヤ」は、東京・沖縄で公演を重ね、2023年11月には皇大神宮(伊勢神宮の内宮)における舞踊奉納に至った。西洋発祥のバレエとして初となる、まさに歴史的な快挙だった。

緑間の代表作がバレエ「御佩剣」である。2021年10月、東京・新国立劇場で初演された同作は、日本最古の書物「古事記」に取材し、ヤマトタケルの剣伝説を扱うが、緑間はその間に琉球の古謡「おもしろさうし」を取り入れた。琉球と大和を結ぶ壮大な舞踊劇を通して「分断か調和か」を探り、神話と今の世を重ね合わせる。

このたび初演されるバレエ「ビゼーティン」は、バレエ「御佩剣」第1番すなわち前史にあたる。主題は、古くから沖縄で語り継がれてきた「北極星」と「北斗七星」にまつわる伝承で、ヤマトタケルの剣である「天叢雲剣」の誕生秘話だ。琉球文化に絶えず光を当て、その豊穡を伝えるのは緑間の使命だろう。また、緑間は先人が育んだ沖縄のバレエの次代を担う存在でもある。緑間 貴子と共同演出・振付した「ダンス・ラ・フロリアード」は、ドリーブの名曲とともに贈る珠玉のバレエで、沖縄の名花たちや新鋭が華やかに踊る。

沖縄の歴史や文化の過去に思いを馳せ、現在を問い、未来を占う公演となるに違いない。

高橋 森彦 (舞踊評論家)



© TOKOIRIYA SOCIETY Association.
© Triple three LLC. © choji nakahodo

北極星と北斗七星の伝説が奏でる
ヤマトタケルの剣 誕生秘話 をバレエ化!

レオ・ドリーブの壮大な音楽の世界が広がる
ネオ・クラシックバレエ

新作バレエ(初演)
(バレエ「御佩剣」第1番)
「ビゼーティン -七つの星の物語-」

日本バレエ協会 沖縄支部「全国合同バレエの夕べ」参加作品
「ダンス・ラ・フロリアード」

演出・振付・脚本 = 緑間 玲貴
音楽 = YURAI / サラ・ノイフェルド / 緑間 玲貴
衣裳 = 下田 絢子

振付 = 緑間 貴子 / 緑間 玲貴
音楽 = レオ・ドリーブ
衣裳 = 下田 絢子



緑間 玲貴



前田 奈美甫



上杉 真由



柳元 美香



鳥袋 稚子



渡久地 円香



渡久地 真理子



川崎 さおり



渡嘉敷 由実



外間 碧衣



鍵 千鶴



當間 涼

吉原 詞子 古田 絢子 足立 るみ 潮津 美左紀 演奏: YURAI

■お問い合わせ
■プレイガイド

<https://tokoiriya.com> または 098-866-3313 トコイリヤ公演事務局 (10:00~18:00)
イープラス / チケットぴあ / 楽天チケット / ローソンチケット / デパートリウボウ / コープあぶれ

SS席 10,000円 / S席 8,000円 / A席 5,000円 (全席指定・税込) ファンクラブ先行発売: 6月1日(土) / 一般発売: 7月6日(土)

文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
協力: 株式会社 Artist Support / 緑間バレエスタジオ

主催: (一社) トコイリヤ・ソサエティー / 那覇市 特別協力: (公社) 日本バレエ協会 沖縄支部
後援: 沖縄県教育委員会 / 那覇市教育委員会 / 沖縄タイムス社 / 琉球新報社

